

~~~~~  
学 会 消 息  
~~~~~

(2016年1月～12月)

○総 会

日 時 4月27日（水） 教授会終了後  
場 所 第2学舎1号館2階 商学部会議室  
議 題 2015年度事業経過報告・決算報告  
2016年度事業計画予算案  
その他

○講 演 会（商学部・商学会共催）

日 時 11月29日（火） 13時～14時30分  
場 所 第2学舎4号館 F401教室  
報告者 村上 敏夫氏（（一社）日本物流団体連合会 理事・事務局長）  
テーマ 「物流を取り巻く現状と課題 ～グローバル化への流れ～」

日 時 12月5日（月） 14時40分～16時10分  
場 所 第2学舎1号館 A501教室  
報告者 藤澤 功明氏（（株）日本経営 代表取締役会長）  
テーマ 「理念が戦略を生むエクセレントカンパニーを目指して（日本経営の経営理念と経営戦略）」

○講 習 会

日 時 12月5日（月） 10時40分～12時10分  
場 所 第2学舎1号館 A501教室  
報告者 4年生5人  
テーマ 「就職セミナー：学生5人による就活体験談」

○研 究 会

日 時 5月15日（水） 13時30分～16時30分  
場 所 第2学舎1号館2階 共通会議室  
報告者 朴 泰勲氏（商学部教授）  
テーマ 「タイと中国のサポーティングインダストリーのSCM－金型産業を中心に－」  
報告者 村上 啓介氏（商学部助教）  
テーマ 「現実問題に対する組合せ最適化アプローチの適用」  
報告者 千葉 貴宏氏（商学部助教）  
テーマ 「顧客を中心としたサービスの交換関係の諸課題」

日 時 6月29日（水） 13時30分～  
場 所 第2学舎1号館2階 共通会議室  
報告者 崔 相鐵氏（商学部教授）

テーマ 「日本型小売業態の源流に関する一考察」

報告者 田中 孝憲氏 (商学部准教授)

テーマ 「Gender diversity on Japanese corporate boards」

#### 〈著 書〉

- 奥 和 義 『両大戦間期の日英経済関係の諸側面』 関西大学出版部, 3月刊。
- 杉 本 貴 志 『食と農の環境問題—持続可能なフードシステムをめざして』(共著)すいれん舎, 9月刊。
- 高 井 啓 二 『欠測データの統計科学—医学と社会科学への応用—』(共著)岩波書店, 4月刊。
- 高 橋 望 『エアライン／エアポート・ビジネス入門【第2版】』(共著)法律文化社, 4月刊。
- 西 村 成 弘 『グローバル経営史——国境を越える産業ダイナミズム』(共編著)名古屋大学出版会, 4月刊。[研]
- 『国際特許管理の日本的展開——GEと東芝の提携による生成と発展』有斐閣, 12月刊。[研]
- 馬 場 英 朗 『入門 公会計のしくみ』(共編著)中央経済社, 10月刊。
- 廣 田 俊 郎 『企業経営戦略論の基盤解明』税務経理協会, 12月刊。

#### 〈分担執筆〉

- 伊 藤 健 市 「現代企業の変貌と自律型人材への期待」齊藤毅憲・渡辺峻編著『個人の自立と成長のための経営学入門』第4章, 文眞堂, 43-54ページ, 4月刊。
- 「ナレッジワーカーに求める能力」同上書, 第7章, 85-96ページ。
- 小井川 広 志 “Resource-Based Industrialization of the Malaysian Palm Oil Industry”, in Y. Sato (ed.) *Varieties and Alternatives of Catching-up: Asian Development in the Context of the 21<sup>st</sup> Century*, Palgrave Macmillan. pp.247-276, May.
- 岸 谷 和 広 「コミュニケーションにおける価値創造」石井淳蔵・廣田章光・坂田隆編著『1からのマーケティングデザイン』第6章, pp.71-82, 中央経済社, 9月刊。
- 杉 本 貴 志 「自然環境と生活環境を守る—消費者運動と流通業の課題」椋原正澄編『食と農の環境問題—持続可能なフードシステムをめざして』第7章, すいれん舎, 106-118ページ, 9月刊。
- 「『食』と『農』の新しい関係—持続可能なコミュニティの建設のために」同上書, 第13章, 210-221ページ。
- 崔 相 鐵 「日本HMR産業の特徴と示唆点」朴ソンジン他編『家庭式代替食品(HMR)産業の現況と政策課題』韓国農村経済研究院:ソウル, 85-95ページ, 3月刊。(韓国語)
- 西 村 成 弘 「グローバル経営史とは何か」橘川武郎・黒澤隆文・西村成弘編著『グローバル経営史——国境を越える産業ダイナミズム』序章, 名古屋大学出版会, 1-30ページ, 4月刊。[研]
- 「絶えざる技術開発とグローバル競争優位:重電機器」同上書。[研]
- 馬 場 英 朗 「公契約とコスト」馬場英朗・大川裕介・林伸一編著『入門 公会計のしくみ』第13章, 中央経済社, 157-170ページ, 10月刊。

## 〈分担執筆〉

- 馬場 英 朗 「ソーシャルインパクト・ボンドにおけるインパクト評価」塚本一郎・金子郁容編著『ソーシャルインパクト・ボンドとは何か：ファイナンスによる社会イノベーションの可能性』第11章, ミネルヴァ書房, 260-278ページ, 11月刊。[研]
- 藤岡 里 圭 「ファストファッションの台頭と百貨店の岐路：アパレル」橘川武郎・黒澤隆文・西村成弘編『グローバル経営史—国境を超える産業ダイナミズム—』第3章, 名古屋大学出版会, 90-110ページ, 4月刊。
- 水野 一 郎 「中国におけるものづくり企業の管理会計—ハイアールを中心として—」上總康行・長坂悦敬編『ものづくり企業の管理会計』中央経済社, 149-172ページ, 4月刊。
- 宮本 京 子 「実証的研修(2)」(共著)『わが国における女性会計学者の現状と課題』日本会計研究学会スタディ・グループ最終報告書, 第7章, 303-406ページ, 9月刊。  
「理論的研究・監査領域における女性会計研究者の特色」同上書, 第8章, 436-440ページ。
- 矢田 勝 俊 「顧客動線研究入門—人の動きを捉える」矢田 勝俊著『岩波データサイエンス vol.4』(岩波データサイエンス刊行委員会), 70-81ページ, 岩波書店, 10月刊。
- 横山 恵 子 「小さな手仕事で被災地と世界を結ぶ協働事業」パートナーシップ・サポートセンター・岸田真代編著『広がる協働』サンライズ出版, 89-97ページ, 2月刊。

## 〈論 文〉

- 岩崎 拓 也 “Model selection for financial statement analysis: Variable selection with data mining technique”, (co-authored) *Procedia Computer Science*, Vol. 96, pp. 1681-1690, September. 【査読付き】
- 岩本 明 憲 「プライシングの分類枠組みに関する批判的考察」『関西大学商学論集』第61巻第1号, 関西大学商学会, 1-23ページ, 6月刊。  
「流通市場における市場の機能と市場の失敗」『関西大学商学論集』第61巻第3号, 関西大学商学会, 1-12ページ, 12月刊。
- 太田 浩 司 「自社株買いの公表に対する短期および長期の市場反応—Auction買付とToSTNeT買付の比較—」(共著)『現代ファイナンス』第38号, 61-93ページ, 9月刊。【査読付き】  
「相対取引による自己株式取得の実態」(共著)『関西大学商学論集』第61巻第2号, 関西大学商学会, 1-29ページ, 9月刊。
- 奥 和 義 「1935年の中国の貨幣制度改革前後の国際経済関係」『関西大学商学論集』第60巻第4号, 関西大学商学会, 37-55ページ, 3月刊。
- 乙 政 正 太 「最近の不正会計事件から学ぶべきこと—指名委員会等設置会社のコーポレート・ガバナンス—」『会計』第189巻第5号, 28-40ページ, 5月刊。  
「経営者報酬とコーポレート・ガバナンスの関係—機関設計の選択の相違から見た場合—」『会計』第190巻第6号, 30-42ページ, 12月刊。  
“Model selection for financial statement analysis: Variable selection with data mining technique”, (co-authored) *Procedia Computer Science*, Vol. 96, pp. 1681-1690, September. 【査読付き】

## 〈論文〉

- 岸谷和広 “A Two-Nation Experiment to Investigate the Relationships among National Culture, Individual-Level Cultural Variables and Consumer Attitudes toward Advertising Websites and the Brand, (co-authored) *International Journal Knowledge Engineering and Soft Data Paradigms*, 5(2), pp.146-160. 【査読付き】  
「ソーシャルネットワークワーキングサイトにおけるコミュニケーション効果の実証研究」『流通研究』18(2), 33-52ページ, 3月刊。【査読付き】
- 木村麻子 「東芝グループにおける環境経営の涵養と実践」共著者小林由典『原価計算研究』第40巻第2号, 日本原価計算学会, 10-22ページ, 8月刊。  
「環境配慮型製品開発プロセスと業績評価システム」『青山経営論集』第51巻第3号, 青山学院大学経営学会, 3-12ページ, 12月刊。
- 陶山計介 「中堅・中小企業のブランド戦略」『プロGRESS』第778号, 中部産業連盟, 2-9ページ, 2月刊。  
「NB & PB時代における流通業とメーカーのブランド戦略」『季刊イズミヤ総研』vol.105, イズミヤ総研, 15-25ページ, 1月刊。
- 高井啓二 “Self-control and consumer behavior”, (co-authored) *Proceedings of International Marketing Trends Conference 2016*, pp1-10, January.  
“Finite-sample analysis of impact of unlabeled data and their labelling mechanisms in linear discriminant analysis”, (co-authored) *Communications in Statistics: Simulation and Computation* 第46巻第1号, Elsevier, pp184-203.
- 高橋望 「関西圏の国際交通基礎構造をめぐる諸問題の研究」(共著)『関西大学商学論集』第61巻第3号, 関西大学商学会, 25-59ページ, 12月刊。
- 高屋定美 「欧州中央銀行の非標準的金融緩和策が欧州経済に与える影響」世界経済評論, 11・12月号, 17-24ページ, 11月刊。  
「英国離脱の背景と欧州統合へのインパクト」ECO-FORUM, Vol.32, No.1 統計研究会, 19-26ページ, 12月刊。
- 田中孝憲 “How do managerial incentives affect the maturity structure of corporate public debt?” *Pacific-Basin Finance Journal*, Vol.40, pp.130-146, December.
- 千葉貴宏 “Are Superior Services Always Good for Satisfaction Formation?” *Serviceology for Smart Service System —Selected Papers of 3rd International Conference of Serviceology*, Springer, pp. 207-212, October, 2016.  
「従業員行動への複雑な情報処理を考慮したサービスの失敗に対する顧客反応モデル」『関西大学商学論集』第61巻第3号, 関西大学商学会, 13-24ページ, 12月刊。
- 辻美枝 「生命保険買取と所得課税—米国との比較を中心に—」『生命保険論集』第194号, 生命保険文化センター, 75-114ページ, 3月刊。  
「国境を跨ぐ不動産投資と課税」『信託研究奨励金論集』第37号, 信託協会, 1-29ページ, 12月刊。
- 徳常泰之 “Market Discipline of Life Insurance Market in Japan”, *Proceedings of the 20th Annual Conference of Asia-Pacific Risk and Insurance Association*, 2016/7/31-8/3 (USB)

## 〈論 文〉

- 徳 永 昌 弘 “Technology Transfer and Spillovers from FDI in Transition Economies: A Meta-Analysis” (co-authored), *Journal of Comparative Economics*, Vol. 44(4), pp. 1086-1114, November.  
「体制転換と環境改革：中東欧研究を中心とする体系的レビュー」『経済研究』第67巻第4号，一橋大学経済研究所，339-353ページ，10月刊。
- 中 冨 道 靖 「東芝の環境経営に関する環境管理会計研究-新たな管理会計研究の可能性-」『原価計算研究』第40巻第2号，23-30ページ，8月刊。  
「サステナビリティマネジメント手法としてのマテリアルフローコスト会計(MFCA)の新たな可能性に向けて：ISO14051とISO14052の国際規格を参考に」(共著)『日本LCA学会誌』Vol.12, No.2, 54-59ページ，4月刊。
- 西 岡 健 一 「情報通信技術によるマーケティングの進化と新たな研究動向」『マーケティングジャーナル』第35巻第3号，日本マーケティング学会，26-44ページ，1月刊。  
“ICT’s Integration Effects on the Relationship Benefits and Business Process in Industrial Markets”, (co-authored) *Proceedings of the 2015 Academy of Marketing Science (AMS) Annual Conference*, Springer, pp 573-579.  
「製造業のサービス化に向けて～ICTによる製造業のサービス化促進～」『サービソロジー』Vol.3, No.3, サービス学会，18-23ページ，10月刊。  
「産業財におけるサービス開発とICTの役割」『関西大学商学論集』第61巻第2号，関西大学商学会，31-50ページ，10月刊。  
“Determinants of ICT enabled service development”, (co-authored) *The proceedings of 23th International Annual EurOMA Conference*, 8 pages on USB.  
“The catalyst driving service platform evolution”, (co-authored) *The proceedings of 23th International Annual EurOMA Conference*, 10 pages on USB.  
“Waiting in Exit-Stage Operations: Expectation for Self-Checkout Systems and Overall Satisfaction”, (co-authored) *Journal of Marketing Channels*, 23(4), pp.241-254, November.  
「外食産業におけるサービス・モジュール化による新たなサービス創出」(共著)『日本フードサービス学会年報』第21号，日本フードサービス学会，36-51ページ，11月刊。
- 西 村 成 弘 「国際特許管理のイギリスにおける展開——米ゼネラル・エレクトリック社の事例」『関西大学商学論集』第60巻第4号，関西大学商学会，57-82ページ，3月刊。[研]  
“Managing Industrial Property: Some Historical Perspectives” *Entreprises et Histoire* No. 82, ESKA, pp. 5-10, April.  
“The Rise of the Patent Department: An Example of the Institutionalization of Knowledge Workers in the United States” *Entreprises et Histoire* No. 82, ESKA, pp. 47-63, April [研]  
“An Approach to Global Business History: How the History of International Business Relations Has Shaped the Field” *Japanese Research in Business History*, Vol. 32, Business History Society of Japan, pp. 61-81, March.

## 〈論文〉

- 羽鳥敬彦 「自由貿易体制と地球主義」『関西大学商学論集』第61巻第1号, 関西大学商学会, 25-55ページ, 6月刊。  
「関西圏の国際交通基礎構造をめぐる諸問題の研究」(共著)『関西大学商学論集』第61巻第3号, 関西大学商学会, 25-59ページ, 12月刊。
- 馬場英朗 「インパクト評価の概念的整理とSROIの意義」(共著)『ノンプロフィット・レビュー』第16巻第1号, 日本NPO学会, 5-14ページ, 6月刊。【査読付き】[研]
- 廣瀬幹好 「二つの科学的管理研究」『関西大学商学論集』第61巻第2号, 関西大学商学会, 51-65ページ, 10月刊。
- 藤岡里圭 「大正期の婚礼需要と百貨店の発展」『国立歴史民俗博物館研究報告』第197集(歴史表象の形成と消費文化), 国立歴史民俗博物館, 127-143ページ, 2月刊。【査読付き】
- 水野一郎 「付加価値会計の総合的研究」『社会関連会計研究』Vol.28, 社会関連会計学会, 59-70ページ, 10月刊。
- 宮崎慧 「商品カテゴリー購買と複数ブランド購買の段階型同時分析モデル」『行動計量学』第43巻第2号, 行動計量学会, 167-180ページ, 9月刊。
- 宮下真一 「消費財産業のサプライチェーン・マネジメントにおける時間次元と空間次元の相互作用」『関西大学法学研究所研究叢書』第53冊, 関西大学法学研究所, 101-143ページ, 1月刊。
- 宮本京子 「企業リスク情報に対する保証業務の実行可能性」『現代監査』日本監査研究学会, 第26号, 12-23ページ, 3月刊。  
「会計監査の内容に関する情報提供の充実について」『会計監査の在り方に関するラウンドテーブル—我が国会計監査の信頼性確保に向けた針路を探る』日本監査研究学会, 30-31ページ, 10月刊。  
「EUにおける監査報告書の拡充に関する実態—オランダの事例分析を中心として」『月刊監査役』日本監査役協会, 第662号, 2-15ページ, 12月刊。
- 村上啓介 “A Shift Scheduling Model Introducing Non-Regular Employees for Hotel Restaurant.” (co-authored) *The Journal of Japanese Operations Management and Strategy*, Vol.6, No.1, pp.17-33, March.
- 矢田勝俊 “Using Statistical Learning Theory for Purchase Behavior Prediction via Direct Observation of In-store Behavior” (co-authored) *2015 2nd Asia-Pacific World Congress on Computer Science and Engineering (APWC on CSE 2015)*, pp.1-6, January.  
“Shop area visit ratio, stay time and sales outcomes in depth analysis based on RFID data” (co-authored) *Proceedings of 2016 3rd Asia-Pacific World Congress on Computer Science and Engineering (APWC on CSE 2016)*, pp.1-7, January.  
“Complementary Relationship between Private Brands and National Brands: Empirical Evidence Based on POS Data” (co-authored) *Proceedings of 2016, 38th ISMS Marketing Science Conference*, pp. 31-43, June.

## 〈論文〉

- 矢田 勝 俊 “Model selection for financial statement analysis: Variable selection with data mining technique” (co-authored) *Procedia Computer Science*, 2016, Vol. 96, pp. 1681-1690, September.
- “Fractal Dimension of Shopping Path: Influence on Purchase Behavior in a Supermarket” (co-authored) *Procedia Computer Science*, 2016, vol.96, pp1764-1771, September.
- “Clustering of Customer Shopping Paths in Japanese Grocery Stores” (co-authored) *Procedia Computer Science*, 2016, pp.1314-1322, September.
- “Does the Existence of Private-Label Brands Really Impede National Brands Sales? Empirical Evidence Based on POS Data” (co-authored) *Proceedings of 2016, 3rd International Conference of Asian Marketing Associations*, pp. 1-17, October.
- 吉田 友 之 「大分県在貿易企業における取引契約上の留意点に関する時系列考察-2013年アンケート調査より-」『関西大学商学論集』第60巻第4号, 関西大学商学会, 43-58ページ, 3月刊。
- 「熊本県在貿易業者が使用するトレード・タームズに関する時系列考察-2013年アンケート調査より-」『関西大学商学論集』第61巻第2号, 関西大学商学会, 67-83ページ, 9月刊。
- 「関西圏の国際交通基礎構造をめぐる諸問題の研究」(共著)『関西大学商学論集』第61巻第3号, 関西大学商学会, 25-59ページ, 12月刊。

## 〈研究ノート〉

- 高橋 望 「コンセクションを地域の発展にどう活かすか」『KANSAI空港レビュー』No.446, 関西空港調整, 27-29ページ, 1月刊。
- 吉田 友 之 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点5」『OITA Trade & Views』第104号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 8ページ, 1-2月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点6」『OITA Trade & Views』第105号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 7ページ, 3-4月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点7」『OITA Trade & Views』第106号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 8ページ, 5-6月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点8」『OITA Trade & Views』第107号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 6ページ, 7-8月刊。
- 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点9」『OITA Trade & Views』第108号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社)大分県貿易協会, 7ページ, 9-10月刊。

## 〈研究ノート〉

- 吉田友之 「仮想事例に基づくトレード・タームズの使用に関する留意点10」『OITA Trade & Views』第109号, ジェトロ大分貿易情報センター・(一社) 大分県貿易協会, 6ページ, 11-12月刊。

## 〈資料・その他〉

- 飴野仁子 「日本の国際航空貨物輸送を考える—時代を見据えたパラダイム転換が問われている—」『ワールド・トレンド2016年10月号』No.252, (特集 アジアにおける航空貨物輸送と空港) アジア経済研究所, 4-7ページ, 9月刊。
- 荒木孝治 統計数理研究所2015年度公開講座テキスト『Rで学ぶ実験計画法』7-95ページ, 2月刊。
- 太田浩司 「解題深書 会計の実証分析を行うために知っておきたい数学」『企業会計』第68巻第9号, 中央経済社, 114-117ページ, 9月刊。
- 木村麻子 「戦略経営におけるブランドマネジメントと管理会計」共著者堺昌彦『戦略経営と管理会計に関する総合的研究(中間報告)』会計研究学会特別委員会(主査:小菅正伸), 65-73ページ, 9月刊。
- 笹倉敦史 「ポイント制度の会計処理」『大阪簿記会計学協会 会報』第61号, 4-5ページ, 12月刊。
- 杉本貴志 「(読み解き金融・経済) マイナス金利 市場経済の『常識』を超えて」『日本農業新聞』2月4日。  
 「(読み解き金融・経済) 電力自由化 選択は市民の意思表示」『日本農業新聞』3月17日。  
 「(争論) 地域とくらしを支える『店』とは?」『くらしと協同』第16号, 2ページ, 3月刊。  
 「(インタビュー/吉川毅一) 低価格で食とくらしを支える~BESTA店の挑戦」『くらしと協同』第16号, 3-11ページ, 3月刊。  
 「(インタビュー/加瀬和美・小林徹也) 組合員の地域拠点をつくる~生活クラブ館徳丸の建設」『くらしと協同』第16号, 12-20ページ, 3月刊。  
 「(特集) 地域の拠点としての生協店舗」『くらしと協同』第16号, 21ページ, 3月刊。  
 「新しい『店』のあり方をもとめて」『くらしと協同』第16号, 22-29ページ, 3月刊。  
 「『国際協同組合同年』から『協同組合の10年』へ~残された課題は何か」関英昭監修『協同組合の心を求めて—「共済と保険」誌巻頭言選集』日本共済協会, 4月刊。  
 「(読み解き金融・経済) タックスハイブン フェアなくして競争なし」『日本農業新聞』4月26日。  
 「(読み解き金融・経済) 伊勢志摩サミット 期待裏切った『税』問題」『日本農業新聞』6月7日。  
 「イギリス社会における非営利セクターの存在意義」『イギリスの医療・福祉と社会的企業視察報告書』非営利・協同総合研究所いのちとくらし, 121-122ページ, 6月刊。



## 〈資料・その他〉

- 杉本 貴志 「(読み解き金融・経済) 反グローバル 排外主義と一線画す」『日本農業新聞』7月26日。  
「(読み解き金融・経済) 被災地から 潜在能力の高さ確信」『日本農業新聞』9月6日。  
「第1分科会 大規模化と事業連合化の時代に考える生協とガバナンス」『くらしと協同 増刊号 第24回総会記念シンポジウム特集 地域再生と協同～協同組合に何を期待するか』くらしと協同の研究所, 50-59ページ, 9月刊。  
「(読み解き金融・経済) 同一労働同一賃金 困難乗り越え実践を」『日本農業新聞』10月25日。  
「(読み解き金融・経済) 全農改革の誤謬 木を見て森を見ず」『日本農業新聞』12月6日。  
「Crisis (危機)」『協同組合研究誌にじ』657号, 1ページ, 12月刊。
- 高内 一宏 “Transport efficiency, downstream R&D, and spillovers,” MPRA Paper No. 68479, December 2015.  
“Profit-reducing fixed-price contract: The role of the transport sector,” MPRA Paper No. 71413, May.
- 田中 孝憲 “How do managerial incentives affect the maturity structure of corporate public debt?” Discussion Paper No.15002, Faculty of Economics, Ritsumeikan University.
- 崔 相鐵 「シリーズ・マーケティング的思考の勧め②: なぜコンビニがずっと消費者に支持されるのか」『架け橋』在日韓国商工会議所, 155号, 30-31ページ, 1月刊。
- 辻 美枝 「交際費の意義—萬有製薬事件」『租税判例百選 [第6版]』有斐閣, 116-117ページ, 6月刊。
- 鶴田 廣巳 「パナマ文書が問いかけるもの」『おおさかの住民と自治』通巻453号, 20-23ページ, 大阪自治体問題研究所, 8月刊  
「パナマ文書をめぐって」税制経営研究所『税制研究』No.70 (再刊第30号), 178-179ページ, 8月刊。  
「『中小企業課税』をめぐって」日本租税理論学会編『国際課税の新展開 (租税理論研究叢書26)』財経詳報社, i - ii ページ, 9月刊。  
「基軸 財政政策と社会保障の行方① 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く 土建国家が招いた財政赤字」『大阪歯科保険医新聞』1245号, 9月15日。  
「基軸 財政政策と社会保障の行方② 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く 閉ざされた福祉国家の道」『大阪歯科保険医新聞』1246号, 9月25日。  
「基軸 財政政策と社会保障の行方③ 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く 社会保障の財政基盤を浸食」『大阪歯科保険医新聞』1247号, 10月5日。  
「基軸 財政政策と社会保障の行方④ 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く 社会保障に値しない制度」『大阪歯科保険医新聞』1248号, 10月15日。  
「基軸 財政政策と社会保障の行方⑤ 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く 税・社会保障改革のまやかし」『大阪歯科保険医新聞』1249号, 10月25日。

## 〈資料・その他〉

- 鶴田 廣 巳 「基軸 財政政策と社会保障の行方⑥ 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く二兎を追う福祉型経済こそ」『大阪歯科保険医新聞』5050号, 11月5日。  
「基軸 財政政策と社会保障の行方⑦ 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く経済再生の鍵=福祉型財政」『大阪歯科保険医新聞』1252号, 11月25日。  
「基軸 財政政策と社会保障の行方⑧ 関西大学商学部教授・鶴田廣巳氏に聞く富裕税で“富の偏り”是正を」『大阪歯科保険医新聞』1253号, 12月5日。
- 徳 永 昌 弘 “The Determinants of Foreign Direct Investment in Transition Economies: A Meta-Analysis” (co-authored), Kyoto Institute of Economic Research, Kyoto University, KIER Discussion Paper Series No. 952, pp. 1-33, November.  
“The Russian Arctic and Environmental Discourse”, *Baltic Rim Economies*, Issue 3, pp. 29-30, June.  
朝倉書店『世界地名大事典』第4～6巻(ヨーロッパ・ロシアI～III), ロシア連邦・東シベリア担当(約350項目執筆), 3月刊。
- 中 邑 光 男 「Question Box」『英語教育』2016年1月号～12月号, 大修館書店。  
朴 泰 勲 “Greek islands and development of tourism industry”, Proceedings of Korea Maritime Business association annual conference, pp.45-61, March.
- 馬 場 英 朗 「非営利組織と委託事業」『芸術団体の経営基盤強化のための調査研究Ⅱ—協会型組織の役割と課題2016』第7章, 日本芸能実演家団体協議会, 96-112ページ, 3月刊。
- 吉 田 友 之 「2015年度春季貿易講座(輸出入編)」テキスト, (一社)大分県貿易協会, 輸出編 1-16ページ, 輸入編1-15ページ, 2月刊。  
「2015年度春季貿易講座(輸出入編)」資料, (一社)大分県貿易協会, 1-12ページ, 2月刊。  
「2016年度貿易実務講座(基礎・概要編)」テキスト, 京都商工会議所, 1-23ページ, 5月刊。  
「2016年度貿易実務講座(基礎・必須編)」テキスト, 京都商工会議所, 1-26ページ, 5月刊。  
「2016年度貿易実務講座(基礎)」資料, 京都商工会議所, 1-18ページ, 5月刊。  
「2016年度春季貿易実務セミナー(輸出入・入門編)」テキスト, 大阪商工会議所, 1-43ページ, 6月刊。  
「2016年度春季貿易実務セミナー(資料編)」テキスト, 大阪商工会議所, 1-27ページ, 6月刊。  
「2016年度インコタームズ2010を理解する」テキスト, 大阪商工会議所, 1-23ページ, 7月刊。  
「2016年度インコタームズ2010を理解する」資料, 大阪商工会議所, 1-7ページ, 7月刊。  
「2016年度貿易関係書類の読み方」テキスト, 大阪商工会議所, 1-19ページ, 8月刊。  
「2016年度貿易関係書類の読み方」資料, 大阪商工会議所, 1-9ページ, 8月刊。

## 〈資料・その他〉

- 吉田友之 「国際商取引契約とINCOTERMS」『平成28年度国際複合輸送士資格認定講座用テキスト（東京開催）』（一社）日本インターナショナル・フレイト・フォワーダーズ協会，1-25ページ，10月刊。
- 「2016年度秋季貿易実務セミナー（輸出入・入門編）」テキスト，大阪商工会議所，1-44ページ，11月刊。
- 「2016年度秋季貿易実務セミナー（資料編）」テキスト，大阪商工会議所，1-27ページ，11月刊。

## 〈翻訳〉

- 伊藤健市 『全国市民連盟の研究－アメリカ革新主義期における活動』サイファース，クリストファー・J著，関西大学出版部，1-282ページ，2月刊。
- 小井川広志 「その他鉱物－銅から石油－」ミラ・ウィルキンス著，安保哲夫・山崎克雄（監訳）『アメリカにおける外国投資の歴史』第8章，ミネルヴァ書房，470-530ページ，7月刊。
- 岡照二 「意思決定支援ツールとしてのマテリアルフローコスト会計」A. モラー・M. ブロックス著，岡照二・中寫道靖共訳『日本LCA学会誌』第12巻第2号，日本LCA学会，71-76ページ，4月刊。
- 中寫道靖 「意思決定支援ツールとしてのマテリアルフローコスト会計」A. モラー・M. ブロックス著，岡照二・中寫道靖共訳『日本LCA学会誌』第12巻第2号，日本LCA学会，71-76ページ，4月刊。

## 〈書評〉

- 太田浩司 薄井彰著『会計制度の経済分析』『証券アナリストジャーナル』第54巻第5号，79-80ページ，5月刊。
- 岡本真由美 亀田尚己・青柳由紀江・J.M.クリスチャンセン著『日英ことばの文化事典』（丸善出版，2016年）『英語教育』2016年3月号，大修館書店，3月刊。
- 高屋定美 「危機に直面した経済の回復方法を示唆——今後の危機への対処法を考察する上で意義ある書」図書新聞，3261号，7月2日。
- 水野一郎 水島多美也著『時間管理会計論—体系的整理への試み—』（同文館出版，2015年）『会計・監査ジャーナル』No.728，日本公認会計士協会編，第一法規，86-87ページ，3月刊。

## 〈学会・研究会〉

- 荒木孝治 「文理融合プロジェクトのビジネスモデル創生『学内外の各種シーズを基に学生が作り出した成功事例の紹介』」関西大学先端科学技術シンポジウム，関西大学100周年記念会館，1月21日。
- 「Rで学ぶ実験計画法」統計数理研究所2015年度公開講座，TKPガーデンシティ竹橋，2月22日・23日。
- 「スパースモデリングの方法－高次元回帰分析法－」日本品質管理学会第160回シンポジウム，日本科学技術連盟東高円寺ビル，9月10日。

## 〈学会・研究会〉

- 岩崎拓也 “Model selection for financial statement analysis: Variable selection with data mining technique”, (co-presented) 20th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems, York, UK, September 5.
- 岩本明憲 “Marketing in Steady-State Economy: Exploratory Case Study on Pioneering Firms,” (co-presented) 2016 Global Marketing Conference at Hong Kong, “Bridging Asia and the World; Global Platform for Interface between Marketing and Management,” July 23.  
「オムニチャンネル時代のNew AIDAモデル」日本マーケティング学会, マーケティングカンファレンス「マーケティングは科学か感性か?」(マーケティングと新市場創造研究会), 早稲田大学, 10月16日。  
“New AIDA Model in the Ara of Omni Channel,” (co-presented) 2016 International Conference of Asian Marketing Associations in Beijing University, October 21.  
「プライシングの分類枠組みに関する批判的考察」第58回マーケティング史研究会秋季例会, 近畿大学, 12月10日。
- 宇恵勝也 「学生の勤労観・職業観とキャリア教育支援」国庫助成に関する私立大学教授会・関西中四国連絡協議会, 2015年度第4回(316回)研究会, 関西大学千里山キャンパス関西大学会館第1会議室, 4月23日。
- 小井川広志 「パーム油産業の高付加価値化と課題」アグロ資源利用型経済発展研究会, JETRO-IDE, 7月15日。
- 太田浩司 「自社株買いにおける企業内部者の機会主義的行動に関する実証研究」日本ファイナンス学会第24回大会, 横浜国立大学, 5月22日。  
第2会場セッション1: 実証会計(司会)日本経営財務研究学会第40回全国大会, 武蔵大学, 10月9日。  
「自社株買いにおける企業内部者の機会主義的行動に関する実証研究」日本経営財務研究学会第40回全国大会, 武蔵大学, 10月9日。  
「経営者予想利益の修正速度と市場の評価」(統一論題報告)日本ディスクロージャー研究学会第14回研究大会, 大阪市立大学, 12月18日。
- 岡照二 「中小企業A社へのバランスト・スコアカード導入にむけて」第90回千里山会計学研究会, 関西大学, 1月30日。  
「自然資本会計の現状と課題-以日本企業の事例研究を中心-」(共同報告)广州区域低碳经济研究基地环境会计学术研讨会, 中国・广州・暨南大学, 3月25日。  
「日本の環境管理会計の中国への浸透度-MFCAを中心に-」(共同報告)日本社会関連会計学会西日本部会, 立命館大学, 7月2日。  
「環境会計から自然資本会計への新たな展開: 新たな価値評価に向けて」(共同報告)日本原価計算研究学会第42回全国大会, 中央大学, 8月29日。  
“New Corporate Information on Sustainability Performance, especially on Natural Capital Accounting in Japanese Companies,” (co-presented), EcoBalance2016, Kyoto Terrsa, October 5.

## 〈学会・研究会〉

- 岡本 真由美 「邦画『となりのトトロ』と洋画“Edward Scissorhands”を用いた英語指導」映画英語教育学会, 早稲田大学, 7月9日。
- 乙政 正太 “Model selection for financial statement analysis: Variable selection with data mining technique”, (co-presented) 20th International Conference on Knowledge-Based and Intelligent Information & Engineering Systems, York, UK, September 5.
- Curtis H. Kelly 全国語学教育学会 - Executive Board Representative  
全国語学教育学会 脳科学・心理学と語学教育部会定款 - 会長  
NeuroELT応用脳科学英語教育国際FAB学会 - Board Member
- 岸谷 和広 「インターネット媒体における広告効果研究」多国籍企業学会西部部会, 関西大学, 12月10日。
- 木村 麻子 「東芝グループにおける環境経営の涵養と実践」日本原価計算研究学会2015年度産学連携コストフォーラム, 関西大学東京センター, 3月12日。  
“Inter- Organizational Cultivation and Penetration of Sustainability Management: The case of Japanese manufacturing company,” 28th International Congress on Social and Environmental Accounting Research, St Andrews University, August 24.  
“The Development of Corporate Performance Information on Sustainability: Practice in Japanese Company,” (co-presented), EcoBalance2016, Kyoto Terrsa, October 5.  
「環境経営の浸透に資する管理会計—日本の事例を中心に」日本組織会計研究学会研究会, 青山学院大学, 10月16日。
- 齊野 純子 「中小企業をとりまく環境変化と会計基準」(統一論題報告) 日本経営分析学会第32回秋季大会, 国士舘大学, 10月22日。  
加藤大吾 「簿記の総合問題の作り方と指導方法」(司会) 日本簿記学会第32回全国大会, 大阪経済大学, 8月21日。  
山根陽一 「初年度簿記科目における学習者の特性に関する関連性分析—学力指標と学習達成度の関連を中心として—」(司会) 日本簿記学会第32回全国大会, 大阪経済大学, 8月21日。
- 杉本 貴志 「コーディネーター解題：大規模化と事業連合化の時代に考える生協とガバナンス」くらしと協同の研究所第24回総会記念シンポジウム第1分科会, コープイン京都, 6月26日。  
「生協職員の連結者としての地位と役割 (協同組合と職員・労働者問題 ~その歴史と現状)」J C総研第7回「協同組合における職員の地位と役割研究会」J C総研, 12月18日。
- 陶山 計介 「解題報告・パネルディスカッションコーディネーター：閉塞状況とコモディティ化を脱却するためのイノベーションの意義と役割」一般社団法人ブランド戦略所2016年6月度東京第八回フォーラム, 関西大学東京センター, 6月14日。

## 〈学会・研究会〉

- 陶山計介 「解題報告・パネルディスカッションコーディネーター：地方創生&観光とブランド構築の課題」一般社団法人ブランド戦略所2016年11月度東京第九回フォーラム, 関西大学東京センター, 11月18日。
- 高井啓二 “Self-control and consumer behavior” (co-presented) Intenational Marketing Trends Conference, イタリア, January 23.  
「MARデータにおける変数の部分集合に対する情報量規準」(共同報告) 統計関連学会連合大会2016, 金沢大学, 9月6日。
- 高内一宏 “Transport efficiency, downstream R&D, and spillovers” 日本経済学会春季大会, 名古屋大学東山キャンパス, 6月19日。
- 高屋定美 「ECBによる非標準的政策の枠組みとその効果」日本金融学会春季大会, 中央銀行パネル, 武蔵大学江古田キャンパス, 5月15日。
- 田中孝憲 “Agency problems during the global financial crisis: evidence from the corporate bond market” 日本ファイナンス学会第24回大会, 横浜国立大学, 5月21日。  
“Gender diversity on Japanese corporate boards” 関西大学商学会, 関西大学, 6月29日。  
“Agency problems during the global financial crisis: evidence from the corporate bond market” 日本経営財務研究学会第40回大会, 武蔵大学, 10月9日。
- 田村香月子 「米国ハイ・イールド債市場の構造分析—日本市場への示唆—」証券経済学会創立50周年記念大会(第85回), 明治大学, 9月18日。  
「地方債制度の見直しと信用評価について」関西大学 経済政治研究所「財政の健全化と公会計改革」研究班第9回研究会, およびJAGA西日本部会第8回研究会(合同開催) 関西大学経済・政治研究所, 11月26日。
- 崔相鐵 「マイナス金利時代の日本消費市場展望」第9回日本経済フォーラム, 韓国取引所1F・ソウル国際会議場, 4月15日。  
「日本型小売業態の源流に関する一考察」関西大学商学会, 関西大学, 6月29日。
- 千葉貴宏 「顧客を中心としたサービスの交換関係の諸問題」関西大学商学会, 関西大学, 6月15日。  
「サービスの再購買意図形成における諸概念の検討と新モデルの開発」日本商業学会関西部会報告会, 神戸大学学友会大阪クラブ・大阪凌霜クラブセミナールーム, 10月15日。
- 辻美枝 「交際費等該当性の判断基準—東京高裁平成15年9月9日判決を中心に—」第64回関大租税法研究会, 関西大学尚文館, 1月30日。  
「金融取引等と非課税」第7回「消費税の研究」共同研究会, 日本税務研究センター, 4月8日。  
「国境を跨ぐポートフォリオ投資への課税—ECJの判決から」第67回関大租税法研究会・第18回立命館大学税財政研究会, キャンパスプラザ京都, 4月30日。  
「保険業と恒久的施設課税」第69回関大租税法研究会, 関西大学尚文館, 6月28日。  
「金融・保険業のグループ化とVAT非課税」2016年度関西大学公法研究会, オテル・ド・摩耶, 7月23日。

## 〈学会・研究会〉

- 辻 美 枝 「金融・保険サービスと消費課税」第71回関大租税法研究会，関西大学尚文館，9月1日。  
「生命保険会社の恒久的施設と所得の帰属-ドイツとの比較」保険学セミナー，コンベンションルームAP大阪梅田茶屋町，9月10日。
- 徳 常 泰 之 “Market Discipline of Life Insurance Market in Japan” Asia-Pacific Risk and Insurance Association, 20th Annual Conference, Southwestern University of Finance and Economics (China) August 1.
- 徳 永 昌 弘 “The Russian Arctic and Environmental Discourse” Slavic-Eurasian Research Center 2016 Summer International Symposium, Hokkaido University, Sapporo, Japan, July 8.  
「ロシア北極圏の開発と環境：言説分析」2016年度比較経済体制研究会夏季研究大会，京都大学経済研究所，9月7日。
- 中 篤 道 靖 “How will MFCA make Usefulness on Sustainable Engineering? : Based on practical experiences in Japanese and Southwestern Asian companies” (co-presented), The 2016 International Conference on Industrial Engineering and Operations Management, JW Marriott Hotel, Kuala Lumpur, Malaysia, March 8.  
「環境経営における環境管理会計の意義」日本原価計算研究学会2015年度産学連携コストフォーラム「先進する環境経営の構築と環境管理会計の役割：東芝・環境推進室の取り組み」関西大学・東京センター，3月12日。  
“Resource Efficiency Management in Japanese Companies” (招待講演) Ringvorlesung: Ressourceneffizienz und Nachhaltigkeit, Hochschule Pforzheim, Germany, April 7.  
“Japanese Corporate Issues to integrate environmental protection and business profit”, WZU-Mitgliederversammlung, University of Augsburg Germany, April 29.  
“My Research Background & My Latest Research: EMA & MFCA, Faculty Club”, Technische Universität Akademie Freiberg Germany, June 7.  
Development of MFCA in Japan and other Asian Countries & New Potentials of MFCA as Sustainability Management, Technische Universität Chemnitz Germany, June.9.  
“Introduction: New Possibilities of EMA Information on Disclosure of Corporate Information for Sustainability”, Workshop: New Possibilities on Disclosure of Corporate Information for Sustainability: supported by Environmental Management Accounting (EMA) and Data Science (DS), Kyoto Terssa Japan, October 3.  
“Future Potentials on Corporate Sustainability Performance Information to Financial Market”, (co-presented), EcoBalance 2016, Kyoto Terssa Japan, October 5.

## 〈学会・研究会〉

- 中 篤 道 靖 “New Corporate Information on Sustainability Performance, especially on Natural Capital Accounting in Japanese Companies,” (co-presented), EcoBalance2016, Kyoto Terrsa, October 5.  
 “The Development of Corporate Performance Information on Sustainability: Practice in Japanese Company,” (co-presented), EcoBalance2016, Kyoto Terrsa, October 5.  
 「欧州の環境経営の最新動向」第8回MFCA大会（日本MFCAフォーラム），東京ビックサイト，12月9日。
- 西 岡 健 一 「産学連携による技術シーズの市場化そして事業化について（エノキタケ由来接着タンパクのケース）」第20回関西大学先端科学技術シンポジウム，関西大学，1月22日。  
 “Determinants of ICT enabled service development” (co-presented) The 23th International Annual EurOMA Conference, the Norwegian University of Science and Technology, Trondheim, Norway, June 21.
- 西 村 成 弘 “Measuring Innovation: What Do Patent Statistics Represent?” 2016 Business History Conference Meeting, Portland, OR, March 31-April 2.  
 “Local Patent Management of MNEs and Global Technology Flows: From Historical Perspective” IFSAM 2016 World Congress, Merida, Mexico, May 17-20.  
 「米英間技術移転と国際特許管理—British Thomson-Houstonの事例1879-1914」社会経済史学会第85回全国大会，北海道大学，6月11-12日。  
 「橘川武郎・黒澤隆文・西村成弘編著『グローバル経営史』をめぐって」（書評会：グローバルな視点からの経営史研究）経営史学会関東部会，法政大学，7月23日。  
 “GTCC Technology and the Reorganization of Global Alliances: Long-term Catching-up Process of Mitsubishi” 1st World Congress on Business History/ 20th Congress of the European Business History Association, Bergen, Norway, August 25-27.
- 朴 泰 勲 “Greek islands and development of tourism industry”, Korea Maritime Business association annual conference, Seoul, Korea March.  
 「タイと中国のサポーターインダストリーのSCM—金型産業を中心に—」関西大学商学会，関西大学，6月15日。
- 馬 場 英 朗 「インパクト評価の概念的整理とSROIの意義」日本NPO学会第18回年次大会，同志社大学，3月6日。〔研〕  
 「ソーシャル・インパクト・ボンドにおけるアウトカム測定とインパクト評価」日本NPO学会第18回年次大会，同志社大学，3月6日。〔研〕  
 「ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）を活用した大阪独自の生活困窮者自立支援のための新たな仕組みづくり」JAGA西日本部会第6回研究会，関西大学，4月9日。  
 「公共サービスのインパクト評価と行財政改革」関西大学経済・政治研究所第220回産業セミナー，関西大学，12月7日。〔研〕



## 〈学会・研究会〉

- 馬場 英 朗 “A Comparative Study on Impact Measurement of Social Impact Bonds for Social Service Innovation”, *ISTR 12th International conference*, Stockholm, June 30. [研]
- “How Information Asymmetry Affected Donor Behavior toward Disaster Support Funds for the Great East Japan Earthquake”, *ISTR 12th International conference*, Stockholm, June 30. [研]
- 廣 瀬 幹 好 森谷周一「創発戦略の再検討による競争優位の探求」(コメンテーター) 日本経営学会関西西部会第622回例会, 関西大学, 6月18日。
- 藤 岡 里 圭 “Changing Japanese denim industry from the Census data”, Global Fashion Business Workshop, Kansai University, March 18.
- “The impact of department stores on economic growth in Japan, 1905-1945”, 75th Annual Conference of Association for Asian Studies, Sheraton Seattle and Washington State Convention Center (US), 2nd April.
- “The transition from communitarian management to modern management in Japanese department stores”, The Centre for the History of Retailing and Distribution Workshop: Retailing, Distribution, and the Family, Historical Approaches, University of Wolverhampton (UK), May 24.
- “The development of Japanese department stores: 1868-1937”, Research Seminar at Institute of Place Management, Manchester Metropolitan University (UK), May 25.
- “Competitiveness of Japanese denim and jeans industry: the cases of Kaihara and Japan Blue, 1970-2015”, (with Ben Wubs), 20th Annual Congress of the European Business History Association and 1st World Congress on Business History, Scandic Ørnen Hotel (Norway), August 27.
- “The role of Japanese department stores in introducing affordable luxury goods into Japan”, Marketing Seminar, Audencia Business School (France), October 6.
- “Clothing: The driving force and the Achilles’ heel of Japanese department stores, 1970-2015”, Business History @ Erasmus, Erasmus University Rotterdam (Netherlands), December 1.
- 水 野 一 郎 日本管理会計学会スタディグループ最終報告(研究代表:水野一郎)「中小企業における管理会計の総合的研究」日本管理会計学会2016年度全国大会, 明治大学, 9月1日。
- 宮 崎 慧 「段階推定のマーケティングへの応用について」日本行動計量学会第44回大会, 札幌学院大学, 8月31日。
- 「直接効用関数による購買選択行動モデルの新しい推定法の提案」日本マーケティング・サイエンス学会第100回研究大会, ホテル阪急エキスポパーク, 11月26日。
- 宮 本 京 子 「EUにおけるISA720適用の現状と展望」日本監査研究学会第39回全国大会, 西南学院大学, 9月9日。

## 〈学会・研究会〉

- 村上啓介 「現実問題に対する組合せ最適化アプローチの適用」 関西大学商学会, 関西大学, 6月15日。  
「時間制約付きハブ配置配送計画問題に対するアプローチ」 計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会2016, 滋賀県立体育館, 12月6日。
- 矢田勝俊 “Self-control and consumer behavior” International Marketing Trends Conference, Venice Italy, January 21.  
“Impact of Analog-to-digital Conversion on Predictive Performance: A Case Study of Bayesian Network vs. Support Vector Machine in Purchase Behavior Prediction” 2016 World Congress on Computational Mechanics, Seoul Korea, July 25.  
“Prediction of Consumer Purchasing in a Grocery Store Using Machine Learning Techniques” 2016 3rd Asia-Pacific World Congress on Computer Science and Engineering (APWC on CSE 2016), Denarau Island Fiji, December 6.  
“Vehicle Ownership and Economic Development” 2016 3rd Asia-Pacific World Congress on Computer Science and Engineering (APWC on CSE 2016), Denarau Island Fiji, December 6.  
“A Deep Learning Approach for the Prediction of Retail Store Sales” 2016 IEEE 16<sup>th</sup> International Conference on Data Mining Workshops, Barcelona Spain, December 12.
- 横山恵子 「大学発ベンチャーとアカデミック・アントレプレナーシップ」 日本マネジメント学会関西西部会, 大阪芸術大学スカイキャンパス, 6月25日。  
「ネットワークの構築力によるアカデミック・アントレプレナーシップの新展開」 日本ベンチャー学会第19回全国大会, 東洋大学, 12月4日。
- 〈講演会〉
- 飴野仁子 「物流からみえるおおさか経済」平成28年度関西大学おおさか文化セミナー(前期) 「おおさかの力～伸びゆくひと, 伸びゆくまち～」 関西大学千里山キャンパス第3学舎, ソシオAV大ホール, 5月17日。
- 岩本明憲 “Some Changes Experienced through the CLIL Training Program.” Academic Teaching in English-Workshop (Institute of Continuing & TESOL Education (ICTE-UQ) delivers), Kansai University, December 6.
- 岡照二 「ものづくりの気になるおカネ - コスト意識を持った賢い消費者になる方法 -」 関西大学高大連携Kan-Dai1セミナー, 大阪府立旭高等学校, 10月27日。
- Curtis H. Kelly The Neuroscience of Storytelling NUFs Workshop Nagoya University of Foreign Studies, Nagoya-shi, January 9.  
The Neuroscience of Storytelling Sojo University Teaching and Learning Forum Conference, Sojo University, January 30.  
Why our Brains like Stories (plenary) Japan Extensive Reading Assoc. (JERA), February 20.

## 〈講演会〉

- Curtis H. Kelly Using Neuroscience in Lesson and Materials Design JALTCALL and the BRAIN Conference, Tamakawa University, June 4.  
 The Neuroscience of Language and a CALL Application: Part 1 JALTCALL and the BRAIN Conference, Tamakawa University, June 5.  
 Making Brains Active with Stories JACET, Notre Dame University, Kyoto, June 25.  
 Factors of Learning (plenary) FAB 9 International NeuroELT Conference, Cebu, Philippines, August 26.  
 The Power of Stories (plenary) FAB 9 International NeuroELT Conference, Cebu, Philippines, August 27.  
 How Preschool (& Exec Function) Can Save the World Teacher development forum: Neuroscience and Corpora, Nagoya JALT Chapter, Nagoya, September 25.  
 Why our Brains Like Stories Yokohama JALT Chapter, Yokohama, October 22.  
 The Power of Stories FAB 10 International NeuroELT Conference, Univ. of Macau, November 12.  
 The Plastic Brain: How emotion, simulation and neural teamwork shape learning FAB 10 International NeuroELT Conference, Univ. of Macau, November 13.  
 Self-Presentation Training Workshop Part 1 Teacher Education Program, International University of Japan, Niigata, December 1.  
 Self-Presentation Training Workshop Part 2 Teacher Education Program, International University of Japan, Niigata, December 1.
- 木村麻子 “How will MFCA make Usefulness on Sustainable Engineering? : Based on practical experiences in Japanese and Southwestern Asian companies” (co-presented), The 2016 International Conference on Industrial Engineering and Operations Management, JW Marriott Hotel, Kuala Lumpur, Malaysia, March 8.
- 杉本貴志 「協同組合が現代社会で期待されている役割とは？ ～その誕生と歴史を踏まえて考える」長野県協同組合連絡会協同組合職員交流集会「協同組合の未来に向かって」JA長野県ビル，2月15日。  
 「生活協同組合とは何か ～生協の『始まり』と『課題』から考える」大阪いずみ市民生活協同組合新入協職員研修，大阪いずみ市民生活協同組合，3月28日。  
 「協同組合としての生協を考える ～『共益』と『公益』をめざす生活協同組合とは？」大阪いずみ市民生活協同組合コープスクール，大阪いずみ市民生活協同組合，5月28日。  
 「協同組合原則とこれからの生協への期待 ～『共益』と『公益』をめざす生活協同組合とは？」コープ九州事業連合2016年度次世代リーダー育成学校，クローバープラザ，6月9日。

## 〈講演会〉

- 杉本 貴志 「協同組合とは？ ～『共益』と『公益』をめざす21世紀型協同組合を考える」全国保険医協同組合連絡会「協同組合」学習会，大阪府保険医協同組合会館，6月19日。
- 「講義1 イギリス生協運動の誕生と展開 ～ロッチデールから消費者運動へ」第8回協同の未来塾，ワークライフプラザれあろ，7月22日。
- 「講義2 日本における生協運動 ～『日本型生協』の歩みと課題」第8回協同の未来塾，ワークライフプラザれあろ，7月22日。
- 「講義3 共益から公益へ ～社会の声を聞くマルチステークホルダー協同組合とは」第8回協同の未来塾，ワークライフプラザれあろ，7月22日。
- 「協同組合の歴史と日本の生協運動への期待」地域と協同の研究センター2016年度第2回共同購入事業マイスターコース，ワークライフプラザれあろ，7月30日。
- 「社会的期待に応える非営利・協同組織 ～組合員組織に課せられた新たな課題」中部労福協第4回労働運動・労働者福祉運動の理念・歴史・リーダー養成講座，新大阪ワシントンプラザホテル，8月3日。
- 「これからの地域社会における協同組合の役割 ～歴史と現状から21世紀型協同組合のあり方を考える」平成28年度第1回協同組合塾，コープこうべ協同学苑，8月18日。
- 「生活協同組合とは何か ～生協の『始まり』と『課題』から考える」生活協同組合コープあいち2016年度コープこうべ協同学苑研修，コープこうべ協同学苑，9月10日。
- 「生協は『消費者主権』を目指すべきなのか？」くらしと協同の研究所第18回生協組合員理事トップセミナー杉本塾，コープイン京都，12月11日。
- 高橋 望 「関西・伊丹の新たな担い手に期待すること」『平成27年度 関西全体の航空需要拡大について考えるフォーラム～関西の空は新たなステージへ～』兵庫県，ホテルオークラ神戸，3月29日。
- 崔 相 鐵 「韓国企業からみた日本消費市場の特徴と対日マーケティング戦略のあり方」阪神シニアカレッジ，尼崎中小企業センター，1月19日。
- 「韓国ロッテ・ショッピングのグローバル・シフト戦略」阪神シニアカレッジ，尼崎中小企業センター，1月19日。
- 「デフレ継続の時代におけるマーケティング戦略」第7期東アジア経営塾，兵庫韓国文化教育院，8月20日。
- 鶴田 廣 巳 「タックスヘイブンと公正課税—『パナマ文書』が問いかけるもの—」大阪保険医協会税理士団，大阪保険医協会，6月8日。
- 「再分配と財政民主主義」法律家とソーシャルワーカーとのコラボ 第3回シンポジウム「これからどうなる？ 社会保障～財源を生み出す公正な税制を考える～」大阪弁護士会館，8月20日。
- 「日本の財政と社会保障財源のあり方」大阪歯科保険医協会，大阪保険医協会，8月21日。
- 「タックスヘイブンと公正課税—社会保障財源のあり方をさぐる—」愛知県保険医協会，愛知県保険医協会・伏見会議室，12月18日。

## 〈講演会〉

- 徳永昌弘 「北極開発とロシア：『恵み』か、それとも『呪い』か」公開講演会「激動のグローバル世界に挑む」（第6回），筑波大学「大学の世界展開力強化事業（ロシア）」，12月21日。
- 西村成弘 「大西洋を“逆に”渡る企業家たち～E・トムソン，C・A・コフィン，そしてG・ウェスチングハウス」（『講座・企業家学』第5回）大阪商工会議所・企業家研究フォーラム，大阪企業家ミュージアム，7月2日。
- 馬場英朗 「非営利組織・社会的企業への新しい資金の流れ—寄付，融資，インパクト投資など」近畿税理士会，メルパルク大阪，6月9日。  
「NPO法人の新しい資金調達の流れと専門家の役割」NPO法人会計税務専門家ネットワーク，神戸国際会館，9月3日。
- 廣瀬幹好 「『ビジネス・アイ』のめざすもの」ビジネス基礎特別講義，大阪市立大阪ビジネスフロンティア高校，6月29日。
- 藤岡里圭 「観光客の『爆買い』と百貨店」平成28年度大阪文化セミナー，関西大学，6月7日。
- 水野一郎 「第1回 統合報告の現状と可能性—持続可能な社会をめざして—」平成27年度関西社会人大学連合インテリジェントアレー専門セミナー，グランフロント大阪，2月29日。  
「第2回 日本における生産性運動と付加価値会計」同上，3月7日。  
「第3回 人本主義管理会計の展開—京セラとハイアールを比較しつつ—」同上，3月14日。
- 宮本京子 「会計監査の在り方に関するランドテーブル」日本監査研究学会，10月15日。
- 矢田勝俊 “Data mining for marketing in the real world” (Keynote speech) MISNC 2016, New Jersey USA, August 16.  
「データマイニングの応用」パネルディスカッション，第20回日本医療情報学会春季学術大会，鳥根県松江市，6月4日。

## 〈受賞・表彰〉

- 荒木孝治 日経品質管理文献賞，『開発・設計に必要な統計的品質管理—トヨタグループの実践事例を中心に—』一般社団法人日本品質管理学会 中部支部 産学連携研究会編，発行所：一般財団法人日本規格協会，11月9日。
- 矢田勝俊 Best paper for Japan Award, “Does the Existence of Private-Label Brands Really Impede National Brands Sales? Empirical Evidence Based on POS Data”, ICAMA2016, October 21.

## 執筆者紹介

(論文掲載順)

伊藤健市	関西大学商学部	教	授
西村成弘	関西大学商学部	教	授
宮下真一	関西大学 政策創造学部	教	授
佐々木利廣	京都産業大学 経営学部	教	授

## 「関西大学商学論集」投稿規程

[2003年5月14日制定]

(目的)

第1条 この規程は、関西大学商学会（以下「商学会」という）発行の機関誌『関西大学商学論集』（以下『商学論集』という）への投稿に関わる事項を定める。

(刊行および原稿締切)

第2条 『商学論集』は原則として年4回、6・9・12・3月に刊行する。原稿の締切は刊行月の2ヵ月前とする。

(投稿資格)

第3条 『商学論集』への投稿資格を有するのは、原則として「関西大学商学会規則」に定める商学会の次の会員とする。

1. 正会員
2. 名誉会員
3. 関西大学大学院商学研究科に在籍し、別に定める要件を満たす学生会員

(第3条に該当しない投稿者)

第4条 第3条に該当しない会員および非会員の投稿原稿は、商学部正会員の推薦があり、かつ商学会常任委員会で掲載を認められた場合に掲載する。

(投稿の要件)

第5条 執筆者は、研究遂行過程において、「関西大学研究倫理規準」を遵守する。  
1. 『商学論集』に投稿できる原稿は、未投稿のものに限る。

(著作権)

第6条 『商学論集』に掲載された原稿の著作権は執筆者が有する。ただし、原稿の二次利用としての電子化利用の権利は、掲載時点で執筆者が商学会に許諾したものとする。

(原稿料)

第7条 執筆者には、次項に従い、別に定める所定の原稿料を支払う。  
1. 原稿料は論文と論文以外(書評・資料・研究ノート・翻訳等)に分けて定める。  
2. 名誉会員には、商学会からの依頼の場合を除き、原稿料を支払わない。

(抜き刷り)

第8条 執筆者には100部の抜き刷りを無料で進呈する。

(雑則)

第9条 この規程に定めるもののほか、投稿に関して必要な事項は別に定める。

附則1 この規程は、2003年5月14日から施行する。

附則2 この規程の施行に伴い、次を廃止する。

1. 商学会非会員投稿規程
2. 名誉会員の投稿規程

附則3 この規程は、2004年10月13日に改訂し、2005年4月1日から施行する。

附則4 この規程は、2007年5月9日に改訂し、2007年6月1日から施行する。

附則5 この規程は、2008年7月9日に改訂し、2008年8月1日から施行する。

附則6 この規程は、2011年5月11日に改訂し、2011年6月1日から施行する。

附則7 この規程は、2015年2月25日に改訂し、2015年4月1日から施行する。